



# 浜地協だより

《発行》 浜益区地域協議会事務局〈支所地域振興課〉 Tel79-2029 Fax79-3702

令和5年度 第1回浜益区地域協議会(令和5年4月26日(水)18:00開催)

【委員】<出席>10名 <欠席>3名 【傍聴者】5名

・会議の概要を掲載しています。・詳細は市ホームページに掲載しています。

## 報告事項

### (1) 令和5年度浜益支所体制について

高橋支所長より、令和5年度の浜益支所体制の報告とともに、4月より浜益中学校に着任された細田幸男校長を第2号委員(見識を有する者)として協議会委員に委嘱しました。

また、新任地域おこし協力隊の多賀谷綾乃さんの紹介、集落支援員の川村佳広さん、柿岡奈々絵さんの取り組みを報告しました。



### (2) 令和4年度地域自治区振興事業実績について

事業名	新・継	総事業費	補助金額	事業概要
はまます区民カレンダー製作事業	継続 H18～	766,700円	240,000円	形状の変更等により総事業費を抑えた。協賛金、振興基金補助金、繰越金で製作。今後も、事業費確保が困難な状況が予想され、実行委員会において検討を重ねる。
浜益フットパスウォーク事業	継続 R2～	165,054円	82,527円	当初4シーズンでウォーキングを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加した時期の実施を見送り3回の開催。参加者は延べ23名。
浜益区水産物等普及プロジェクト事業	継続 H27～	4,816,873円	1,880,000円	水産物普及プロジェクトは朝市とサマーイベントの開催に要する経費の一部を補助。浜益の水産物のPR、区民の夏の楽しみとして定着。

### (3) 令和5年度主要事業の概要について

事業名	予算額	事業概要
ワーケーション実証事業	1,500,000円	旧適沢コミュニティセンターをワーケーション機能、喫茶機能、地域交流機能、地域情報発信機能等を有する複合施設として再生させ、地域内外の交流促進、地域文化等の継承、関係人口の創出を図る。
はまます区民カレンダー製作事業	240,000円	区民カレンダーの制作費用を一部補助
浜益区水産物等普及プロジェクト事業	1,880,000円	朝市及びびみなと祭りの経費を一部補助
浜益区地域おこし協力隊活動事業	9,551,000円	地域おこし協力隊2名の活動費用
浜益区集落支援員活動事業	8,846,000円	集落支援員の活動費用

## 協議事項 ～高齢者に優しいまちづくり～

## 浜益web情報館「浜益宝箱」事業

## 目的

- ・浜益の文化・芸術、伝統を伝える映像の保存・公開  
※狂内藩陣屋研究会の方々・人形作家の方・沖揚げ音頭・奴・川下八幡神楽・浜益音頭保存会・浜益豊漁太鼓・浜益小劇場
- ・浜益の歴史(古老から歴史を学ぶ・浜益昔ばなしの更新等)を伝える  
※高齢者から昔の話、こぼれ話、よもやま話。戦争やニシン場、学校の話など
- ・たくさんの自然を魅せる
- ・様々な職種、年齢層の方々に学校へ関わってもらう。地元愛、自分の家族の成り立ち等、様々な学びへ。
- ・浜益に関心を持った方への予備知識、知恵袋として活用したい。

## これから協議していく内容

- ・どこで、どんな形で公開するか。  
(webサイト(ホームページ)であればテーマ、コンセプト、デザイン、見せ方が需要)
- ・ランニングコストの確保の仕方。  
(サーバーやドメイン使用料、動画や画像の編集委託、サイト運営の委託等)
- ・サイトを閲覧させるきっかけづくり  
(検索キーワード設定やQRコードの配布による周知等)
- ・事業を自走化させる方法の検討  
(何かで稼いで運営やCM受注等)
- ・双方向での活用の検討  
(発展形として、閲覧側が欲しい情報を要求する等)

## ☆委員の皆さんからの意見

- ・わかもん会が地域の情報を発信する取り組みを行っている。そういうのも取り入れてほしい。
- ・現存するアナログデータの積極的なデジタル化を。 など

○以上を踏まえ、何を求められ、どう生かしていくのかを検討していくこととしました。

## 第1目標

## 浜益の高齢者が

- ・守ってきた歴史・文化・自然を伝承する材料
  - ・活躍していた頃の苦労話やおもしろ話
  - ・頭の中に持っている知恵や何気ない技術
  - ・浜益で楽しく過ごしている姿
  - ・脈々とつなぐ故郷、母校への愛
  - ・見聞かして捉えている現在
- 高齢者の活躍で素材が集まる！

## 第2目標

- ・子どもたちの学習材料になる
- ・関係人口層が浜益に興味を持つきっかけに
- ・現役世代に役立つ知恵や技がある
- ・浜益を離れた家族、親戚と繋がるきっかけに
- ・世代関係なく共感できることがある
- ・浜益の現在を発信し、浜益に来る方への予備知識提供
- ・浜益に足りない物、コトを見つけてくれる人との広がりや繋がり

→過去だけではなく常に現在を発信

## 防災浜リュック事業

## 課題と目的

- ・防災に備える意識と助け合いの意識を高める
- ・避難が難しい方を共助や支所の力を合わせて助ける  
→それまで持ちこたえられることが必要
- ・避難所まで避難するまでに最低限必要な物
- ・さっと持ち歩いて両手をふささず、貴重品等も入ると便利
- ・「避難するときどうすればいいか」という不安の軽減
- ・更新が必要等ランニングコストがかからない物が良い

## 求められる「浜リュック」とは？

- ・各自治会の防災体制によって、希望が違うこともある。
- ・区民が自己負担をして購入する物だから  
→“必要なもの”の区民(自治会)の意見を反映したい。
- ・大切なのは、共通した汎用性、必要性。
- ・予算規模に合わせて調整する。
- ・1世帯当たり1個のみ2,500円の自己負担を想定。

## 今後の流れ

5月  
予算要求・審査

6月  
予算確定  
自治会連合会と中身を決定

7月  
見積もり依頼  
購入希望調査  
発注

8月  
納品後配布準備  
集金・配布方法決定

9月  
支払い完了  
避難訓練等に活用等

## 防災用品リスト (1万円分想定 of 事務局案)

品名	数量	説明
①リュック(浜マーク入り)	1個	反射材付きのリュック。レインカバー付き。浜マークあり。
②ソーラーランタン	1個	軽量で、太陽光充電で24時間点灯。歩行時にリュックにぶら下げられる。
③ヘッドライト(電池式)	1個	夜間避難時に両手をふささなく周囲を照らすことができる。
④防災ラジオ(ランタン付き、充電式)	1個	災害情報の収集、音で自分の位置を知らせる、自宅、避難所での照明等。
⑤アルミ防寒シート	2個	夜間等の防寒対策。低体温症の防止。
⑥多機能ナイフ	1個	物を切る、削る、缶詰の開封等に活用
⑦レインコート	2個	雨天時に衣服が濡れることを防ぐ。

## ☆委員の皆さんからの意見

- ・防災マップも同梱して欲しい。仕事場からでも避難できる場所を確認しておきたい。
- ・携帯電話の充電ができるものが必要。電池式は保管を考えると実用性がない。
- ・多機能ナイフの必要な場面が無いと思う。 など

○以上を踏まえ、自治会連合会と中身の調整をしていくこととしました。

今後も検討を重ね、

出来ることから取り組んでいきます！